

フローチャート作成

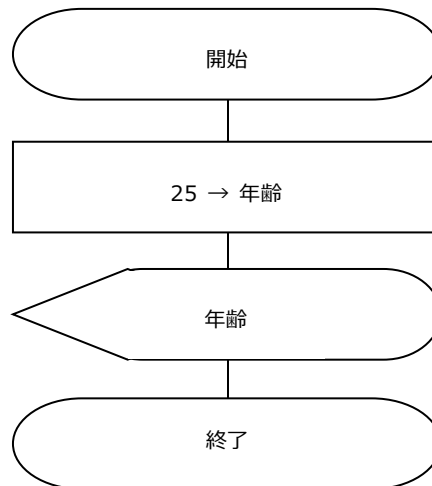
目次

1. 例題	1
2. 演習課題	3

1. 例題

1 変数と表示

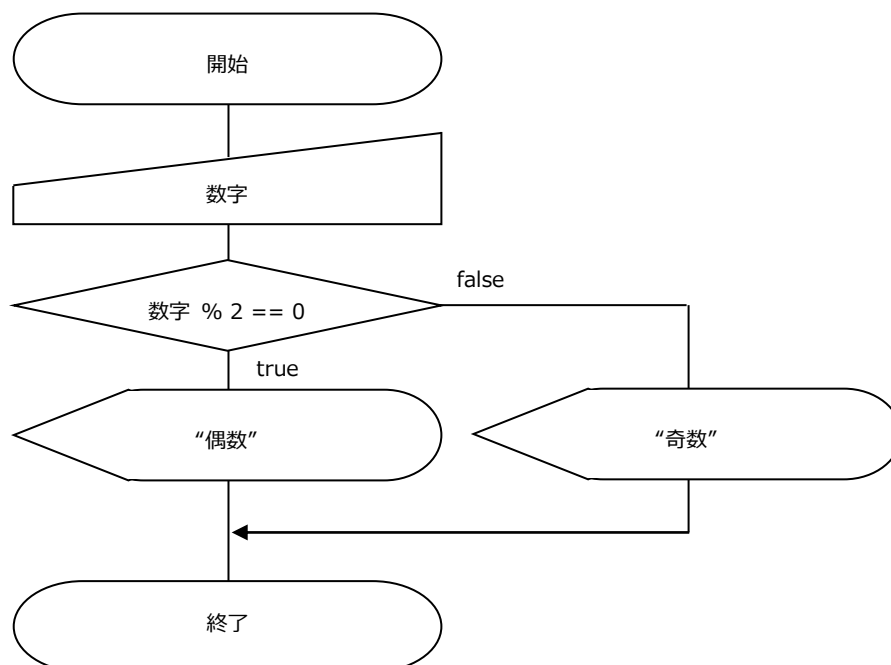
変数「年齢」に 25 を代入する。変数「年齢」に記憶された値、25 を表示するためのフローチャートを記述せよ。



※表示記号に変数名を記述すると、変数に記憶された値が表示されます。

2 偶数、奇数の判別

変数「数字」に入力した値(数値)を代入する。入力した値(数値)が偶数の場合は“偶数”と表示を行い、入力した値(数値)が奇数の場合は“奇数”と表示するためのフローチャートを記述せよ。



※手操作での入力には入力記号を用います。

また割り算の余り(剰余)を求めるには%を用います。

割られる数	割る数	商	剰余
9	2	4	1
8	2	4	0
7	2	3	1
6	2	3	0
5	2	2	1
4	2	2	0
3	2	1	1
2	2	1	0
1	2	0	1

$$9 / 2 = 4 \text{ 余り } 1$$

$$8 / 2 = 4 \text{ 余り } 0$$

$$7 / 2 = 3 \text{ 余り } 1$$

$$6 / 2 = 3 \text{ 余り } 0$$

$$5 / 2 = 2 \text{ 余り } 1$$

$$4 / 2 = 2 \text{ 余り } 0$$

$$3 / 2 = 1 \text{ 余り } 1$$

$$2 / 2 = 1 \text{ 余り } 0$$

$$1 / 2 = 0 \text{ 余り } 1$$

2. 演習課題

1 足し算の計算

17+37+27 の足し算の計算結果を表示するためのフローチャートを記述せよ。

2 平均値の計算

変数「数字 A」、及び変数「数字 B」に入力した値(数値)を代入する。入力した 2 つの値(数値)の平均値を表示するためのフローチャートを記述せよ。

3 偏差値の判別

変数「偏差値」に入力した値(数値)を代入する。入力した値(数値)が 50 以上の場合は“良く出来ました”と表示を行い、入力した値(数値)が 50 未満の場合は“頑張りましょう”と表示するためのフローチャートを記述せよ。

4 正の整数の入力

変数「数字」に入力した値(数値)を代入する。入力した値(数値)が負(マイナス)でない限り処理を繰り返すフローチャートを記述せよ。

5 連番の表示

1 から 20 までの整数を順に表示するためのフローチャートを記述せよ。

6 3 の倍数ではない整数の表示

1 から 100 までの整数のうち、3 の倍数ではない整数のみを表示するためのフローチャートを記述せよ。

7 Fizz-Buzz の表示

1 から 100 までの整数を表示するためのフローチャートを記述せよ。

ただし、3 で割り切れる整数の場合は、数字を表示せずに、“Fizz”という文字列を表示せよ。

5 で割り切れる整数の場合は、数字を表示せずに、“Buzz”という文字列を表示せよ。

15 で割り切れる整数の場合は、数字を表示せずに、“Fizz-Buzz”という文字列を表示せよ。

8 九九の計算

1 の段から 9 の段まで(1×1 から 9×9 まで)の掛け算の計算結果を表示するためのフローチャートを記述せよ。